

記入例

国分寺市長 殿

施設等利用費請求書（償還払い用）

幼稚園・認定こども園・特別支援学校幼稚部の預かり保育事業

【令和5年4月～令和5年9月分請求書】

特定子ども子育て支援提供証明証の発行年月日以降の日付をご記入ください。

- 消えるペンは使用しないでください。
- 訂正がある場合は、2重線で削除の上、正しい内容をご記入ください。

例) 国分寺 太郎 次郎

償還払いは半年ごとにまとめて行うため、原則半年分をご記入ください。（途中入退園・転出入を除く）

3 利用料の支払い状況を国分寺市が対象施設に確認すること。

4 課税状況を国分寺市が

施設等利用給付認定保護者の氏名を署名または記名押印ください。

1. 施設等利用給付認定保護者（請求者）

フリガナ	コクフンジ ○○○	認定子どもとの	生年月日	〇〇年 〇月 〇日
氏名	国分寺 ○○ 印	〇	〒	〒185-〇〇〇

請求月に応じてご記入ください。
例：4月から9月分→4月1日～9月30日

認定通知書に書いてある種別と認定番号をご記入ください。認定番号が不明な場合は未記入でも構いません。

2. 認定子ども（認定子どもごとに申請して下さい）

法第30条の	の認定種別	<input checked="" type="checkbox"/> 第2号 <input type="checkbox"/> 第3号	認定番号	0000000
生年月日	〇〇年 〇〇月 〇日	フリガナ	コクフンジ △△	
令和5年4月1日～令和5年9月30日の間の住所		氏名	国分寺 △△	
<input checked="" type="checkbox"/> 現住所のとおり <input type="checkbox"/> 転入した <input type="checkbox"/> 転出した		上記で転入または転出に該当した場合は転入・転出日を記入		

対象期間中に転入又は転出した場合は、転入・転出日をご記入ください。

3. 在籍する幼稚園・認定こども園

フリガナ	〇〇ヨウチエン	所在地	〒
施設名称	〇〇幼稚園	(市外の場合のみ記入)	電話：
令和5年4月1日～令和5年9月30日の間の在籍状況		<input checked="" type="checkbox"/> 期間中在籍 <input type="checkbox"/> 途中入園した <input type="checkbox"/> 途中退園した	

上記で、途中入園または途中退園に該当する場合は、

前回の請求から内容に変更がない場合はチェックを入れてください。
変更がある場合のみ下記に変更後の振込先を記入してください。

4. 償還払いの振込先を記入して下さい（※1）

前回請求から振込先の変更はありません。※変更がある場合のみ下記に記入

振込先記入の場合は支店名記入忘れず。ゆうちょ銀行の支店名が不明な方は「記号」を記入。		預金種目	<input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 当座
〇〇〇	銀行・信用金庫	口座番号	0 0 0 0 0 0 0 0
	農協・信用組合	口座名義 (カタカナ)	コクフンジ○○○
	支店	出張所	

※1 申請者と口座名義が異なる振込先を指定する場合は、国分寺市指定の委任状を提出してください。

申請者（施設等利用給付認定保護者）と口座名義が異なる振込先を指定する場合は、国分寺市指定の委任状をご提出ください。

5. 在籍園の預かり保育事業以外に認可外保育施設等の利用費の償還払いを受けることができる場合は記入（※2）

※①～⑥に書き切れない数の施設・事業を利用した場合は、余白等に記載して下さい。

フリガナ	〇〇ホイクエン	所在地	〒185-0000
① 施設・事業名	〇〇保育園		東京都国分寺市〇-〇〇-〇〇
		電話:	

※2：「在籍園の預かり保育事業以外に認可外保育施設等の利用費の償還払いを受けることができる場合」とは、
在籍園の預かり保育事業について①と②いずれかに該当する場合です。

① 教育時間を含む平日の預かり保育の提供時間数が**8時間未満**

② 年間（平日・長期休業中・休日の合計）開所日数**200日未満**

* 在籍園の預かり保育の実施状況がご不明な場合は、在籍園または施設の所在自治体のホームページ等でご確認ください。

請求額の算定は市に委任します。

にチェックをした場合、請求額は**未記入**でご提出ください。

⇒ご提出いただいた添付書類の金額・日数等に基づいて請求額を算定いたします。

〇添付書類（請求書と併せて必ずご提出ください。）

- ・領収証（利用料の支払を証明する書類）
（口座振替の場合は、通帳のコピーなど利用料が個別で確認できる書類等でも可）
- ・特定子ども・子育て支援提供証明書（支援の提供状況や内容などを証明する書類）
※領収証兼特定子ども・子育て支援提供証明書でも可能です。

請求額の算定は市に委任します。

6. 在籍園の預かり保育事業と、認可外保育施設等の利用（※3参照）における施設等利用費の償還払い請求の内訳を記入

利用年月	在籍園の預かり保育事業				認可外保育施設等に支払った金額 (d) ※3 ※4	請求額 ※5 （「c+d」が月額上限額の低い方を記入）
	施設に支払った金額 (a) ※4	利用日数	対象額 (b) (450×利用日数)	aとbの金額の低い方を記入 (c)		
計算式	a=利用料×①	① 日	b=450×① 円	aとbで低い方の金額 円	d=利用料×日数	c+dと上限額 (2号11,300円, 3号16,300円)で低い方の金額
例1 (新2号認定)	5,000 円	10 日	4,500 円	4,500 円	10,000 円	11,300 円
例2 (新3号認定)	7,500 円	15 日	6,750 円	6,750 円	10,000 円	16,300 円

請求金額は市に委任します。

にチェックをしない場合は**請求金額**をご記入ください。

例1（新2号認定）・例2（新3号認定）の内容

- ・在籍園の預かり保育料（aの利用料）… 1日500円×利用日数
- ・認可外保育施設の預かり保育料（dの利用料）… 1日1,000円（認可外保育施設の預かり保育は10日利用した場合）
- ・月額上限額：新2号認定11,300円、新3号認定16,300円

記入していただいた内容に不備等があった場合、再提出をお願いする場合がございますのでご了承ください。